

分娩期助産診断・技術学

単位数：2単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授

松浦 志保：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

ローリスクおよびハイリスク産婦の管理について学び、正常な分娩経過をサポートするための助産診断と助産実践を行うための知識と技術および問題解決能力を修得する。

2. 教育目標

- 1) 分娩期にある女性と胎児の心身の生理的なプロセスと生理的状态からの逸脱を助産診断するために必要な知識を修得する。
- 2) 産婦の健康状態、正常な分娩経過と正常からの逸脱について根拠をもって助産診断することができる。
- 3) 科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケア技術について修得することができる。
- 4) 女性に寄り添う助産実践や分娩期における助産師の役割について考察できる。
- 5) 胎児の異常とその原因・要因、治療、管理について学び、その援助および予防に向けた助産ケアについて修得する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義および学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

【評価】

筆記試験、プレゼンテーション内容、レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

- 1) 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ（2）分娩期・産褥期、医学書院
- 2) 今日の助産；北川 眞理子、南江堂、2013
- 3) プリンシプル産科婦人科学1；武谷雄二監修、メジカルビュー社、2014
- 4) プリンシプル産科婦人科学2；武谷雄二監修、メジカルビュー社、2014
- 5) 産婦人科診療ガイドライン産科編2014 日本産婦人科学会編；日本産婦人科学会、2017
- 6) 新生児蘇生法テキスト メジカルビュー社

5. 教育内容 30 回

回	内 容	講師
1~2	分娩の生理と管理	橋本
3~5	分娩期の異常	皆本
4	産褥期の異常	皆本
5	合併症妊娠	京
6	胎児の健康状態 胎児心拍数モニタリングにおける CTG 判読法の理解	石橋
7	分娩期の治療、異常分娩	石川
8~10	新生児の生理（正常とハイリスク）	柴田
11~12	ハイリスク新生児	柴田
13~19	分娩期の助産技術 1	橋本
20~23	分娩期の助産診断とケア	橋本
24~28	分娩期助産課程	橋本
29~30	分娩期の助産技術 2 側臥位分娩、フリースタイル分娩	橋本